

1. 活動報告（事務局 記）

6月15日（土）今年も田植えが行われました。苗はミヤタノモチという、もち米です。地元、二俣瀬小学校と宇部市内から参加された子供さんと保護者の方々、ならびに会員や関係者が参加し約150名で楽しく田植えが行われました。途中、テレビ局や新聞社も取材に来て下さいました。秋には、稲刈りもみんなで行う予定です。今年も昨年同様、豊作になりますように……。この行事はテレビ山口（KRY）にて7月20日と21日に放映されました。

6月16日（日）広島県賀茂郡福富町のスイスイクラブから井上総理大臣ほか5名、副総理、外務、総務、財務、官房長官が来られました。原田会員と、田村会員で遊ロード経由でビオトープへ案内しました。又スイスイクラブのつくるいきさつや、現代製作中のこと、会員が現30名で会費徴収している事等を聞きました。

7月3日（水）山陽町の厚陽小学校2年の19名と父兄を二俣瀬出身の井上先生（田の小野）が引率して見学されました。今井会長が挨拶され藤村会員と原田会員で案内しました。

7月6日（土）作業は湿地や草原に生えたヒエ、セイタカアワダチソウ等の草抜きと、蓮田、湿地の水路の補修工事をしました。

7月9日（火）山口県議会の厚生委員会の視察がありました。今井会長が挨拶され、ビオトープの案内をされました。県議の皆さんからのいろいろな質問にも会長が答えられていました。本日視察されたのは、厚生委員会の委員長友田有、副委員長橋本尚理、委員の石崎幸克、橋本憲二、近間一義、柳居俊学、久保田后子、三村真千代、地元選出議員として副議長の二木和夫、藤本一規以上の10名の皆さんです。

7月12日（金）善和園園長さんをはじめ総勢51名でビオトープの草刈ボランティアが有り、すっかりきれいになりました。

7月20日（土）朝9時から総会があり、会則、行事計画等について、話し合いがありました。その後、市民センター裏にて、親睦を兼ねて焼肉を行いました。大変盛り上がっていました。

2. 今後の予定（事務局 記）

7月24日 会則検討委員会（7月20日 会則が決定しなかったので委員会が出来ました）

7月27・28日 イキイキ・エコパークに出展 サポート2名程度必要 藤井、西原会員参加予定

8月8日 親と子の水辺の教室より来客有り 案内2～3名 北村、藤村、西原会員参加予定

8月10日 ソバの種蒔きから食べるまでの勉強会 及び全参集会員によるビオトープ、遊ロードのチェック

8月24日 休耕田を新しくつくる会が管理する様になって皆様の意見で蕎麦を植える事になりました。今後は収穫、石臼での蕎麦挽き、蕎麦の手打ち、試食となります。益々忙しくなりますが、楽しみも増えてきます。

8月末 水田穂肥（ほごえ）施肥、うんか等除虫（会員ほか人海戦術）

9月末定 蕎麦の管理上、水田と蕎麦田を繋ぐ丸木橋を設置します 丸太杉は林 武司会員が提供してくれます。

10月10日 ロータリクラブにて“里山ビオトープ二俣瀬”の講演（講師 西原一誠会員）

3. ビオトープ関連（ビオトープで観察される動植物）

“二俣瀬のビオトープ周辺で観察されるトンボ”（原 隆 記）

2001年4月から2002年7月まで、調査した結果です。（原さんの資料の抜粋です。詳細は原さんか西原までに）

均翅亜目【イトトンボ科（8種）[キイトトンボ属：キイトトンボ、ベニイトトンボ][ホソミイトトンボ属：ホソミイトトンボ][アオモンイトトンボ属：アオモンイトトンボ、アジアイトトンボ][クロイトトンボ属：クロイトトンボ、セスジイトトンボ、オオイトトンボ]】【モノサシトンボ科（2種）[グンバイトンボ属：グンバイトンボ][モノサシトンボ属：モノサシトンボ]】【アオイトトンボ科（2種）オツネイトンボ属：オツネイトンボ][ホソミオツネイトンボ属：ホソミオツネイトンボ]】【カワトンボ科（2種）[アオハダトンボ属：ハグロトンボ][カワトンボ属：ニシカワトンボ]

不均翅亜目【ムカシヤンマ科（1種）[ムカシヤンマ属：ムカシヤンマ]】【サナエトンボ科（5種）[アジアサナエ属：ヤマサナエ][コサナエ属：タベサナエ][コオニヤンマ属：コオニヤンマ][ウチワヤンマ属：ウチワヤンマ、タイワンウチワヤンマ][オニヤンマ科（1種）オニヤンマ属：オニヤンマ]】【ヤンマ科（4種）[サラサヤンマ属：サラサヤンマ][コシボソヤンマ属：コシボソヤンマ][ヤブヤンマ属：ヤブヤンマ][ギンヤンマ属：ギンヤンマ]】【エゾトンボ科（5種）[トラフトンボ属：トラフトンボ][エゾトンボ属：エゾトンボ、タカネトンボ][コヤマトンボ属：コヤマトンボ][オオヤマトンボ属：オオヤマトンボ]】【トンボ科（18種）[ハラビロトンボ属：ハラビロトンボ][シオカラトンボ属：シオヤトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ][ハッチョウトンボ属：ハッチョウトンボ][ショウジョウトンボ属：ショウジョウトンボ][アカネ属：ナツアカネ、アキアカネ、マユタテアカネ、ヒメアカネ、リスアカネ、ノシメトンボ、コノシメトンボ、ネキトンボ、キトンボ][コシアキトンボ属：コシアキトンボ][ウスバキトンボ属：ウスバキトンボ][チョウトンボ属：チョウトンボ]

今回の調査で確認できた種は、10科48種で特に特異性のあるトンボは確認できなかったが、湿地性のトンボを数種確認できたことには大変興味深いもので、今後の継続した調査によりさらに多くのトンボが確認されると考える。

4. ピオトープ関連 (連載ピオトープ近辺の案内)

“駒の頭(こまのかしら)” (車地 吉富 壮介 記)

新幹線が通る、ジェット機が飛ぶ、こんなご時勢に「駒の頭」って、見向きもしないだろうが、あの当時「あんなことを考える人」それは奇人か、偉人かの、どっちかだったろう。案内板は市民センター横にある。ながなが書いてあるから、読むといい。読まんお方に教えよう。あそこに「在る物」は、水を分ける器、そこに使うてあった。バックミラーを飾って「これが自動車だ」と言うようなもの。現物は、二俣瀬橋の下流50Mにある。車地側から厚東川の川底を通り、木田側へ水を渡す仕掛け。その形態が「馬の頭」に似ているから稱した。「ラクダの頭」か、「サギの首」が似合うかも知れない。が、敢えて「駒の頭」と言わせるのが憎い。木を二つに割って木管を造り、川底を掘って渡し、対岸に水を揚げようとの考えは、並みの頭じゃ考えへもつくまい。五重の塔を造る技術のある日本に、「駒の頭」ぐらい...と思う人は多かるう。でも、そんな一流の大工が「たかが水路」に来てくれるものでもないし、第一、日役が払えまい。居あわせた百姓と毛の生えた大工が、コツコツ造ったものだろう。果たせるかな漏水がひどく、「あくぼ(麦をこいだかす)」を流しこみ、えっとこさ水を渡したという。洪水で流されないよう、木枠で石を留(とど)めてあった。今でこそ鉄管、ヒューム管など、なんぼでもあるし、掘っても運んでも重機でラチをあげ、生コンで固めてチョン。茶パツの兄ちゃんが三人もおれば、ハナ唄で完成させるだろうが...。何回か改修、補修をし、現在のものは昭和58年、地元・後藤建設がヒューム管、塩ビ管をコンクリートで固めて完成。お陰で「駒の頭」の偉業を賛える者は、一人もいなくなった。

5. 会員の声

“田植えの感想” 宇部短期大学 保育学科 比嘉 若菜

まわりが緑に囲まれた自然豊かな環境の中で、気持ちよく田植えを体験させてもらいました。田んぼの中に足を入れた瞬間、ヌルツとした感触がありました。このように、泥を肌で感じ、また、田んぼの中にいる虫を発見したりしながら、とても楽しく田植えをしました。1本1本気持ちを込めて植えた稲が、元気に成長し、お米になるのがとても楽しみです。沖縄で生まれ育った私は、宇部に来るまで田んぼを見たことがありませんでした。宇部に来て田んぼを初めて目にした時の感激は、今でも忘れません。それがまさか田植えまで体験できるとは。この体験は、私の宝物となりました。ありがとうございました。宇部に来て本当に良かった!

比嘉さんのプロフィール (つくる会の和田陽子さんより紹介)

比嘉さんは沖縄県の中部の出身でこのあたりはサトウキビ畑はたくさんありますが田圃が殆どない所です。そんなところから宇部に勉強に又ピオトープの為に参加頂きました。

比嘉さんは7月18日にオーストラリアのニューカッソルへ、交換留学生として旅立ちます。半年後、どんな素敵な女性になって帰ってくるか、楽しみです。彼女が宇部に来てからオーストラリアに行く、たった約3ヶ月の間に楽しい体験をプレゼントできて、とてもうれしいです。彼女を温かく迎えていただき本当にありがとうございました。

“「ピオトープで田植えをしたよ」” (二俣瀬小学校3年 若林十雲 記)

今日ピオトープで田植えをしました。「しゅうごう。」と言いました。そして、あつまりました。次にせつ明をしてもらいました。かさとみののせつ明や歌とかをやってもらいました。かさとみのは、雨をふせぐためのものでした。歌は田植えの歌を歌ってくれました。けど歌いがいめんどくさいなあと、思いました。歌は楽しかったです。次に手本を見せてもらいました。何か木でできている、ちょう方形のまん中に木のぼうがついてるへんなものでした。ひっくりかえしたりして赤いしるしの所になえを植えていました。テレビにうつれそうな所に行ったらよく見えました。次に入りました。土がぐちゃぐちゃで楽しかったし気持ちよかったです、もっとうまかったです。次に田植えをはじめました。ひもに赤い矢じるしがあつたからそこに植えました。けど三本から五本にできなかつたり、赤い矢じるしからずれたりしました。そしてとちゅうでやめました。なぜかという、つかれたし、あきたし、めんどくさかつたからです。さい後にみぞで足をあらいました。たのしかったです。つかれたです。しずんだのがおもしろかったです。

“たうえ” (二年一組 益田祐奈 記)

たうえにいきました。すごく楽しかったです。たうえをしたのは、二回目でした。ちがう小学校の人もいました。でも、二またせ小学校の人のほうがおいかったです。たうえのとき、いねがすぐなくなつたり、なくならなかつたりしました。

6. 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

またやってきました。今日は一人です。誰もいないので気兼ねなくのんびりできますね。前回3冊目のノートに書いたんだけどそのノートが消えてしまっているの、この2冊目のノートに書いてます。風が爽やかで気持ちがいいです。風と緑と鳥の鳴き声を草の香りを、楽しんでます。あ~、ええなあ。嫌なことがあつてもここに来ると いやされます。(漢字忘れた!) つばめが田んぼの水面ぎりぎりを飛んでます。明日は雨?になるのかな。やごの脱皮を見つけました。家に持って帰ろう。ぼーとするにはもってこいの場所ですね。うれしい。苗を植えてから4日位しかたつてないけど、なんかすっかりしたような気がします。もう少し伸びた頃が風になびいて一番いい時期だと思う。昔、アメリカに旅行しに行ったんだけど、日本を飛び立つ時、地上は緑一色でした。アメリカは地上に降り立つ時茶色でした。でもおりたら芝が植えてあつたり 街路樹がいっぱいあつたりしたんだけどね。でもその時、日本ってきれいだなーって思った。田んぼっていいなー また一人言を書きました。

(6月19日(水)晴 山陽町 白石)

“一日遠足” いく前から、話にきいていた当「ピオトープ二俣瀬」初めて来ました。1才と3才の孫、嫁、そして我々夫婦、計5人、小鳥たちの声をききながら おにぎりを食べ、楽しいひとときを過ごす事ができました。有難うございました。

(6月22日 晴 厚南 1住民)

そよ風で自然の中で散歩し、心ものんびりしました。広いのにおどろきました。池の橋の木々の間にのぞいている草は取った方が歩きよいと思います。管理、御苦労様です。

(6月28日 晴 厚南 向上直子、若林豊子)

ここをつくってくれた人。かんしゃしています。ぜったいこわしたりしないで ここは水がきれいだから。ホタルはとびますか。すごくてのしー！ 本当 アリガトー！

(著者不明 関?)

(7月7日 宇部市東岐波区花園 藤本汰一 6才、寛太 4才、慎 3才)

今日はたなばたです。昨日も来たけど 今日また来ました。今日はアミとバケツと長靴をもってきました。めだかがたくさんおよいでます。何匹かつれてかえります。だいじにします。せりちゃん、りおちゃんのお母さんより

(7月7日(日) 宇部市厚南区大和団地 あらき せりな 7才、あらき りおな 6才)

おたまじゃくしをつかまえた。気持ちいい。6人できました。おたまじゃくしはうごきのはやくてつかまえにくかった。けどつかまえた。それにうろちょろし、「あ」といついたり、うわーってなったりして、さいこうでした。でかいのもいました。これが「おたまタクシーです。ちゃんちゃん」(おたまじゃくしとへびのつながった大きな絵が書いてあります)。口があるのはたべられてはじめてから。へびにきおつけようへびにいくともうもどれない そのままはじめてからさあスタートからゴールまでしゅっぱつだあ～。がんばれ～。

(期日不明 3年生 巻幡 千咲(まきはた ちさ))

7. 会よりの連絡事項

1事務局より 今後の行事で、設備の補修、蕎麦の育成、椎茸栽培、等決定事項や、更に炭焼き希望 と増えてきます。したがって皆様の更なる参加を呼びかける次第です。

8. 編集後記

つくる会が新しい形でスタートした。まだまだ多く克服しなければならない問題を抱えている。各分野でそれぞれの方が活躍努力されて、前進充実されている状況を頼もしく思いながら、今少しついていけない自分に何が出来るかと。

今年度の新しい計画の中のソバの栽培を楽しみにしている。種を蒔いて、どんな芽を、どんな花を、どんな実をつけて等、全く初めての経験が出来ることを、そして何よりもその収穫されたソバを挽いて、手打ちソバをいただくその日を心待ちに、又シイタケの栽培も楽しみ。皆様夏バテしない様気をつけて下さい。

(松本 フデ子 記)